

令和5年度 第1回佐治地域振興会議 議事概要

日時：令和5年4月27日（木）午後6時30分～

場所：佐治町総合支所 2階 大会議室

〔出席委員〕 9名

小谷繁喜、西尾寛茂、谷口輝男、阿久津奈穂子、井上茜、無替幸夫、田中精夫
中家孝、小林憲二

〔欠席委員〕 3名

田中早雄、岸田みち代、下石聡子

〔事務局〕 5名

下田支所長、下石副支所長兼地域振興課長、飯田市民福祉課長、上田産業建設課長
倉持地域振興課課長補佐

〔日程〕

1. 開 会
2. あいさつ
3. 自己紹介
4. 佐治地域振興会議 正副会長選出
5. 協議・報告事項
 - (1) バッテリー交換式EVとバッテリーステーション活用による地域貢献型脱炭素物流等構築事業について
 - (2) 地域振興会議の役割及び令和5年度地域振興会議開催スケジュールについて
 - (3) 令和5年度佐治町総合支所事務担当者について
 - (4) 令和5年度佐治町総合支所当初予算について
 - (5) その他

〔議事概要〕

4. 佐治地域振興会議 正副会長選出
会長に小谷繁喜氏、副会長に下石聡子氏を選出。
5. 協議・報告事項
 - (1) バッテリー交換式EVとバッテリーステーション活用による地域貢献型脱炭素物流等構築事業について**【経済・雇用戦略課 スマートエネルギータウン推進室】（以下【推進室】）**

脱炭素先行地域構想について国の公募は3回目であり、環境省が100地域の選定を目標にしています。現在46地域が選定されています。

前回、第2回公募に応募しましたが落選し、その理由は地域住民との合意形成が不十分との指摘でした。今回は、その反省を踏まえての再挑戦となります。

【委員】バイオマスボイラーによる発電の記載があるが、原料に佐治町内の立木を間伐すれば防災にも役立つのではないか。

【委員】バッテリーステーションを作っても活用手段があるのか。

【推進室】事業性が確保できれば2億円を活用して車両を導入可能です。共助交通のさじ未来号をEVにする等の活用が考えられます。

【委員】住民に効果が及ぶような仕組みの検討をお願いしたい。

(2) 地域振興会議の役割及び令和5年度地域振興会議開催スケジュールについて

【事務局】資料を説明

(3) 令和5年度佐治町総合支所事務担当者について

【事務局】資料を説明

(4) 令和5年度佐治町総合支所当初予算について

【事務局】資料を説明

【委員】ふるさと祭りの日程は決まっているのか。

【事務局】11月中旬を予定しており、実行委員会では11月12日を提案する予定です。場所は佐治小学校で、学習発表会と同時開催を予定しています。5月16日の実行委員会で日程を決定します。

(5) その他

【委員】1月27日の大雪と倒木による停電の情報提供の少なさは問題があった。音声告知放送も停電で使えない状態で、防災行政無線の屋外スピーカーもほとんど放送されなかった。

屋外スピーカーは防災情報しか流せないのは理解しているが、状況報告も防災情報ではないのか。長時間の停電で情報が入ってこなければ住民は不安になる。途中経過報告で「まだ復旧の見通しが立っていない」といった情報も必要だ。

【委員】中国電力も電話は対応されず、インターネットのみの対応だった。これでは高齢者だけの世帯は情報が取れない。

【委員】情報提供のあり方について市の内部で話し合いをしてもらいたい。停電で困ったことの洗い出しも必要だと思う。

以上、午後8時終了。